

さんとめ通信 12号 2026・3月

さんとめどんぐり村運営委員会

2月15日（日）どんぐりヤマ「大規模落ち葉はき」を開催しました。

15組34名（大人21・子ども13）の参加がありました。初めての参加が8組、狭山ブロックからは7組が来てくれました。

スタッフ&応援の13名を含め計47名で、ヤマの中央エリアや北側の落ち葉を掃き集めました。お昼には、みんなで美味しい三富汁を味わいながら、早春のどんぐりヤマで交流を深めました。

朝礼の後、所沢職員岩井君の落ち葉はきレクチャーがありました。



レクチャーを終え、大人も小さな子どもと一緒に落ち葉はきを開始！



堆肥場に落ち葉を積む作業でも、子ども達は大活躍!!



昨年度の落ち葉堆肥には、カブトムシの幼虫がまだ眠っていました。



ヤマの未来のためコナラの苗を植えました。1.5mに育つまで5年かかります。



作業の後、温かな三富汁がふるまわれました。子どもたちも含め、何杯もおかわりがありました。



終わりに皆さんに感想を述べてもらいました。楽しかったとの声が多くて嬉しかったです。



【参加された皆さんからの感想の抜粋です。】

内容がわかりやすく、自由で無理がなくのびのびと参加できました。スタッフの方も感じが良かったです。

(S.T)



(子どもたちが) 日常では出会えない量の落ち葉に埋もれて、五感で季節と自然を味わっているようでした。動いた後のお漬物とさんとめ汁がとても美味しかったようで、たくさんいただきました。ありがとうございました。(MS)



いつもながら作業をしがちで、無心で何かをする事が難しい現代ですが、落ち葉掃きでは、それを体験する事が出来ます。無心で作業する事で自分の心もリセットされる様な心地よさを感じています。

また、今回は美味しい「さんとめ汁」のふるまいもあり、地場で採れた野菜を味わう事が出来て、お腹も心も満たされました。ふとした時に香る、焚き火や森の香に終始癒されました。

本当にありがとうございました！(Y.S)



無心で落ち葉を掻き集める単一作業がリフレッシュになりました。音にも癒されました。さんとめ汁も美味しかったです。(MS)



どんぐり拾いや落ち葉の触感を全身で味わえる所にとっても魅力を感じています。子供たちも、小さな熊手で親たちのお手伝いが出来て得意気で嬉しそうでした。(Y.S)



家族での参加が多く、楽しそうでした。

敷地が広いため、もっと多くの人に知ってもらい、参加してもらえると助かります。(Y.I)



この辺りは土壤に栄養が少ないことを初めて知りました。また落ち葉を集めて堆肥を作ることも知らなかった為、とても勉強になりました。またこんなに大変な作業だと思いませんでしたが、環境への取り組み、自然と循環した堆肥作りにとっても感動致しました。お味噌汁もとても美味しく、何杯もおかわりをさせて頂きました。貴重な体験を企画してくださりありがとうございます。また機会があれば是非参加させて頂きたいと思います。(A.T)

子ども達の笑い声が絶えず、とても楽しそうに自然を観察しながら作業が出来ておりました。また周囲の方達も優しくお声かけくださり、子ども達がリラックスして参加出来ていたなと感じました。落ち葉が山のように集まっていく光景を見て、子ども達は達成感を感じていたように思います。また自然との共存を肌身で実感することで、子どもの成長に良い影響を与えることが出来る取り組みだと思いました。

素晴らしい機会をありがとうございます。(A.T)



3月15日ラスト
落ち葉はきの
応募はこちらの
QRからどうぞ。
(3/12 締切)

天気にも恵まれ、スタッフの皆さんの尽力で、無事に落ち葉はきを終わることができました。また、どんぐり村にいらしてくださいね。(どんぐり村事務局)